

4月所感

思い立ったが吉日

狭山市立教育センター

所長 鈴木 浩明

桜花爛漫の言葉が実感できる春となりました。子供たちの進級や入学を祝うかのように草木に美しい花が咲いています。冬の間、暖かな日差しをじっと待っていた木の芽もふき、心がわくわくするような感動を感じます。新しい年度、平成28年度が始まりました。

4月は新たな気持ちで物事を始められる月です。何かに挑戦しようと思って行動に移しやすい月でもあります。

「思い立ったが吉日」という故事があります。あれこれ先のことを考えたり、疑ったりすると、チャンスを逃したり失敗したりすることになるという意味が含まれているのではないかと思います。用意周到に準備してからとか、もう少し後に始めようと思っていると、最初の一步を踏み出すのが難しくなるものです。行動しながら考え、振り返り、軌道修正して行くことが、目標達成のための、近道かもしれません。どうか考えてしまう人は、最初の一步を踏み出すまで時間がかかるため、意欲を維持するのも難しくなります。さらに、やらなければならないと分かっているのに気が進まないと思っていることでしたら、なおさら最初の一步が進まなくなります。

じっくり検討してから始めたほうがいいこと、しっかり準備をしてからやったほうがいいこと、いい時期を待ってやったほうがいいこともあるかもしれません。

しかし、行動が早ければ、早く振り返ることができ、軌道修正も素早くでき、時間を前倒しにすることができます。普段から素早く行動に移すことができるようになれば、自分に自信ができ、気持ちがどんどん前向きになってくるものです。4月は、素早く物事に取り組む習慣を身につけるきっかけとなる月かもしれません。

教育センターは、本年度も、さやまっ子の健やかな成長を信じて、職員一同全力を尽くしてまいります。

御理解、御協力のほど宜しくお願いいたします。